吹田市権利擁護・成年後見支援センター「けんりサポートすいた」の取組状況

(令和7年1月9日時点)

1 相談・支援

(1) センター相談

(単位：人)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
新規（実人数）	19	24	21	32	33	—	129
継続（延べ人数）	50	53	70	100	112	—	385
計	69	77	91	132	145	—	514

(2) 専門相談・専門職派遣

(単位：件)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
専門相談	0	0	2	2	2	2	8	※4 枠/月
専門職派遣	1	1	1	1	1	0	5	※2 枠/月

2 広報・啓発

(1) 主催研修

日 時：令和6年12月5日（木）午後1時30分～午後3時30分

会 場：吹田市立文化会館（メイシアター）集会室

対 象：吹田市民、高齢者・障がい者関係の支援機関、府内の行政機関・市町村社協

参加者：108名（会場64名、オンライン44名）

内 容：

●第1部 基調講演 講師 弁護士 青木 佳史 氏

「認知症や障がいがあっても、自分らしい生活を続けるということ
～権利擁護支援の動向とこれから～」

【概要】20数年の実務実績と国際的動向を踏まえ、意思決定に支援を要する人や権利侵害からの救済を必要とする人への総合的な権利擁護支援策にふさわしい成年後見制度への見直しが求められており、民法の改正と社会福祉法の改正を見据えた幅広い観点からの検討がなされている。

●第2部 取組報告（座談会）

津雲台・藤白台地域包括支援センター センター長 上農 朱美 氏
片山・岸部障がい者相談支援センター センター長 山本 達也 氏
けんりサポートすいた センター長 朽久保 秀紀 氏

感 想：

●「自分のことを自分で決められる人が多い地域は幸せな地域」これを現場の方が言ってくださることが本当にありがたいと感じました。

●どの事例もチームで一丸となって利用者さんにかかわりを持たれているという所で、私たちもチームの一員として、利用者さんに寄り添ってあげたいと思いました。輪を広げていくというのがとても大切な事だと思いました。

●どんなタイミングで成年後見制度を利用できるのか、具体的な事がもっと知りたいです。

(2) 出前講座

開催回数 6回、参加者数 127人